

防災だより

平成 26 年 12 月第 29 号
下田市地域防災課防災係
Tel.0558-36-4145

防災ラジオを引き続き販売しています!!

市では、同報無線の放送内容が聴きとりにくくなっている現状を解消するため、9月に予約を募り、有償で配布しました防災ラジオを、引き続き販売しています。

購入を希望される方は印鑑、身分証明書を持参の上、地域防災課(10番窓口)までお越しください。
なお、9月販売時とは、次の点が変更となりました。

☆ 現在お持ちの方でも、追加で購入することができます。

☆ 対象が拡大され、市内に住居があれば購入することができるようになりました。

1 受付期間 在庫に余裕があるかぎり、随時、受付を行います。

2 対 象 (1)市内在住の世帯又は市内に住所を有する事業所
(2)市内に住居(別荘等)を有する者

3 負 担 金 対象(1)の場合 1,500 円
対象(2)の場合 6,600 円

4 申込方法 印鑑、身分証明書を持参の上、地域防災課へお越しいただき、
申込書に必要事項を記入し提出してください。
※申込書は、市ホームページからでもダウンロードできます。

5 配布方法 申込みを受付け、配布の準備が整いましたら、電話にて連絡をいたしますので、負担金と身分証明書を持参の上、地域防災課(10番窓口)へお越し下さい。
※連絡は、概ね1週間ほどで連絡することができるかと思いますが、業務等の都合によっては、過ぎてしまう可能性もありますので、御了承ください。
※電話で連絡がつかない場合は、郵便にてお知らせします。

6 製品仕様 同報無線放送受信機能付き FM・AM ラジオ(ラジオを聴いていても同報無線が流れると自動的に同報無線受信に切りかわります。)
電 源:AC 電源、単三電池併用
その他:LED 電灯、イヤホンジャック、外部アンテナ端子付

7 問合せ先 地域防災課防災係 36-4145 下田市ホームページ <http://www.city.shimoda.shizuoka.jp/>



◆地震でおきる電気火災の種類

通電火災	再送電火災	トラッキング・過電流火災
通電した状態で起こる。	停電後に再送電されたときに起こる。	テーブルタップ・プラグから出火。
○断線、圧迫した状態で発熱しておこる。 ○器具やコードを破損して起こる。	○家の倒壊などによりスイッチの ON・OFF がわからなくなった状態で発熱して起こる。 ○器具やコードが壊れた状態で再送電し起こる。	○ほこり・湿気が原因で地震による振動(摩擦)がきっかけで起こる。 ○たこ足配線がきっかけで起こる。 ○プラグの差し刃が抜けて起こる。
例：電気がカーテンや布製品に触れて発火。プラグが半抜け。	例：壊れた電化製品に再送電して発火。	例：地震でコンセントとプラグの接触部分がショートして発火。

※プラグの上ののっているほこりをとることや、配線の近くに水を置かないなどの、常日頃からの防火対策が大きな一歩です！

◆地震が起きた時の心得

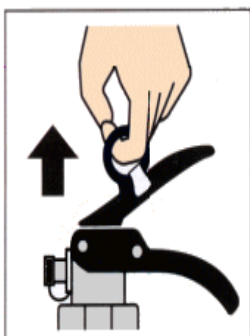
1. まず、わが身の安全を！ あわてて外に飛び出さな！
2. すばやく火の始末！
3. 火がでたらすぐ消火！
4. 山崩れ、がけ崩れ、津波、浸水に注意！
5. 生埋者がいれば、助けを呼んで救出を！
6. 狭い路地、塀際、がけや川べりに近寄るな！
7. 避難は徒歩で！ 持ち物は少なく！
電気・ガスの元栓をしめて
8. 協力しあって応急救護、自主防災活動に参加
9. 正しい情報をつかみデマにまどわされるな！
10. 秩序を守り衛生に注意！



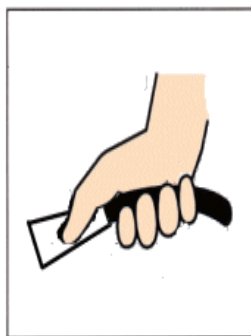
◆消火器の取扱い方法を知っておきましょう。

■ 消火器の使い方 ■

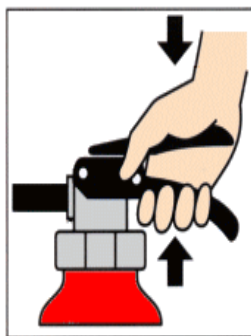
Step 1 安全栓を引き抜く



Step 2 ノズルを火元に向ける



Step 3 レバーを強く握る



・屋外で使用する場合、風上から消火する。

・低い姿勢で熱や炎を避けるようにして、徐々に近づく。

・炎や煙にまどわされずに火元にノズルを向け、火元を掃くように左右に振り消火する。